

# 移住者受入モデル地域育成支援事業

## 1 趣旨

定住者を受入れようとする意欲ある地域をモデル地域として選定し、(1) 移住者の受入促進計画の作成及び実施、(2) 空き家を活用した宿泊体験・交流施設の整備を支援するもの。

## 2 内容

### (1) 空き家活用等定住・半定住受入支援事業（ソフト事業）

- ①事業主体 移住者受入モデル地域の実行委員会
- ②事業期間 5年間
- ③事業費 促進計画の作成 500千円（1地域あたり、原則として1年目）  
促進計画の実施1,000千円（1地域あたり、事業期間内の総額）  
(補助率) (県1/2、市町村1/2)
- ④事業内容 促進計画の作成
  - ・実行委員会開催、専門家招聘、先進地調査、空き家調査など
  - 促進計画の実施
  - ・実行委員会開催、移住者受入のための情報発信、移住希望者の現地視察受入れ、移住希望者と空き家所有者とのマッチング等

### (2) 空き家活用等定住・半定住受入支援施設整備事業（ハード事業）

モデル地域において、国の「空き家再生等推進事業」を活用し、空き家を移住希望者のための宿泊・交流体験施設へ改修する場合に、県が当該費用の一部支援

- ①事業主体 市町村、移住者受入モデル地域の実行委員会等
- ②事業期間 (1)の事業期間 実行委員会の構成員を含む
- ③補助限度額（1モデル地域につき空き家1件限り）

#### 【市町村実施】

3,000千円（市町村負担分の1/3）

[通常]	[本事業活用]
国 1/2 市 1/2	国 1/2 県6 市1/3

#### 【実行委員会等実施】

3,000千円（実行委員会等負担分の1/2）

[通常]	[本事業活用]
国 1/3 市 1/3 民間1/3	国 1/3 市 1/3 県6 民間6

## 3 予算額

4,550千円（ソフト事業は加速化交付金活用）

(1) ソフト事業	1,200千円（6地域+新規地域）
(2) ハード事業	3,000千円（1地域）
(3) 県事務費	350千円

# 移住者受入モデル地域への支援(ソフト・ハード)の概要

## モデル地域の選定

取組み意欲のある  
地域、自治会等

協働

市町村

移住者受入モデル地域提案  
実行委員会:市町村と地元自治会等で構成

県

モデル地域として選定  
活動への助言

## 事業実施の流れ

### ソフト事業

補助:県1/2(上限25万円)、市町村1/2

#### ①受入促進計画の作成(1年目~)

##### 計画の内容

- ①10年後のめざすべき姿、②地域が求める定住者像
- ③移住希望者の現地視察受入れ方法、④地域における役割分担
- ⑤空き家等を活用した地域の宿泊体験・交流施設の整備計画 など

【取組内容(例)】・実行委員会の開催 ・先進地視察 ・専門家招聘  
・空き家調査 ・計画書印刷 など

補助:県1/2(上限50万円)、市町村1/2

#### ②計画の実施(2~5年目)

【取組内容(例)】・東京等でのセミナー開催 ・ホームページ、PR映像作成  
・雑誌への移住者募集広告掲載など情報発信  
・地域の魅力向上のための研修会実施  
・移住希望者の現地視察受入れ など

### ハード事業 (必要に応じて)

補助:国1/2、県1/6(上限300万円)、市町村1/3  
または 国1/3、県1/6(上限300万円)、市町村1/3、地域1/6

#### ○空き家を活用した宿泊体験・交流施設の整備

- ・地域内の空き家を、移住を検討している者のための宿泊体験・交流施設などとして整備(国の「空き家再生等推進事業」を活用)
- ・耐震調査、設計費、施設整備工事等(用地取得費を除く)

※補助対象は、1地域につき、1件のみ

## これまでに選定したモデル地域

(地元自治会等による移住者受入促進の取組みを支援)

氷見市(速川)



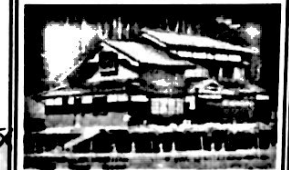
選定:H27.9

魚津市(片貝)



選定:H28.12

朝日町(笹川)



選定:H25.12

南砺市(利賀)



選定:H25.12

高岡市(金屋町)



選定:H25.12

南砺市(城端)



選定:H25.12

補助:県45/100(上限225万円)、市町村45/100、地域10/100

- 宿泊体験・交流施設を中心とした地域づくり活動に必要な備品整備
- ・特産品開発に必要な備品、伝統工芸の体験に必要な備品・道具等

補助:県1/2(上限1,000万円)、市町村1/2  
または 県5/12、市町村5/12、地域1/6

- 移住希望者の受入・交流に必要な施設等の整備
- ・移住希望者との地域住民の交流施設、伝統工芸体験施設等